

製品安全データシート(SDS)

作成日 2014年9月5日

製品名：インターレジエンス

1. 化学物質等及び会社情報

化学物質等の名称	炭酸水素ナトリウム
総販売元	ナチュラルエージ技術協会
製造会社名	石田化学工業株式会社
住所	京都市南区吉祥院落合町 20 番地
電話番号	075-661-3611
FAX番号	075-671-6410
緊急時の電話番号	075-661-3611
メールアドレス	sales@ishida-chem.co.jp
推奨用途及び使用上の制限	一般工業品

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性

可燃性・引火性ガス	分類対象外
支燃性・酸化性ガス類	分類対象外
高压ガス	分類対象外
引火性液体	分類対象外
可燃性固体	分類できない
自己反応性化学品	分類対象外
自然発火性液体	分類対象外
自然発火性固体	分類できない
自己発熱性化学品	分類対象外
水反応可燃性化学品	分類対象外
酸化性液体	分類対象外
酸化性固体	分類できない
有機過酸化物	分類対象外
金属腐食性物質	分類できない

健康に対する有害性

急性毒性（経口）	区分外
急性毒性（経皮）	分類できない
急性毒性（吸入：ガス）	分類できない
急性毒性（吸入：蒸気）	分類できない
急性毒性（吸入：粉じん）	区分外

	急性毒性（吸入：ミスト）	区分外
	皮膚腐食性・刺激性	区分外
	眼に対する重篤な損傷・眼刺 感作性	区分外
	呼吸器感作性	分類できない
	皮膚感作性	分類できない
	生殖細胞変異原性	分類できない
	発ガン性	分類できない
	生殖毒性	分類できない
	特定標的臓器・全身毒性 （単回ばく露）	分類できない
	特定標的臓器・全身毒性 （反復ばく露）	分類できない
	吸引性呼吸器有害性	分類できない
環境に対する有害性	水生環境急性有害性	区分外
	水生環境慢性有害性	区分外
GHS 分類に該当しない他の危険有害性		特になし
重要な兆候		特になし
想定される非常事態の概要		特になし
国/地域情報		「15. 適用法令」を参照

3. 組成及び成分情報

化学物質

化学名	:	炭酸水素ナトリウム
成分及び含有量	:	炭酸水素ナトリウム 99.8%以上
化学式	:	NaHCO ₃
官報公示整理番号（化審法）	:	1-164
CAS No.	:	144-55-8
安全衛生法	:	該当しない
GHS分類に寄与する不純物及び安定化添加物		特になし

4. 応急措置

吸入した場合	被災者を新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。 気分が悪い時は直ちに医師に連絡すること。
皮膚に付着した場合	水で洗い流すこと。 汚染された衣類を再使用する場合には洗濯すること。

眼に入った場合	水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。眼の刺激が続く場合は直ちに医師の診断を受けること。
飲み込んだ場合	口をすすぎ、気分が悪い時は直ちに医師に連絡すること。
最も重要な兆候及び症状	特になし
応急措置をする者の保護	特になし
医師に対する特別注意事項	特になし

5. 火災時の措置

消化剤	この製品自体は、燃焼しない。 水噴霧、泡消火性、粉末消火剤、炭酸ガス、乾燥砂類。
使ってはならない消化剤	特になし
特有の危険有害性	消火作業は風上から行う。 火災発生場所の周辺に関係者以外の立ち入りを禁止する。 消火のための放水等により、環境に影響を及ぼす物質が流失しないよう適切な措置を行う。 関係者以外は安全な場所に退去させる。
消火を行う者の保護	消火活動では、耐熱手袋、ゴーグル型保護眼鏡、空気呼吸器を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項	関係者以外の立ち入りを禁止する。
保護具及び緊急措置	直ちに、全ての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離する。 処理を行う際には、必ずゴム手袋、保護眼鏡、保護衣等を着用すること。
環境に対する注意事項	環境へ影響を起ささないよう注意する。
封じ込め及び浄化方法・機材	すくいとり、または掃き集めて紙袋またはドラム等に回収する。
二次災害の防止策	特になし

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	
技術的対策	「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。
局所排気・全体換気	「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の局所排気・全体換気を行う。
注意事項	特になし。
安全取扱い注意事項	取扱い後は手、顔などをよく洗い、うがいをする。 換気の良い場所で行う。粉塵の拡散を防ぐ。

保管

技術的対策	換気の良い場所で容器を密閉し保管すること。
保管条件	特に技術的対策は必要としない。
容器包装材料	移し替えの保管容器はステンレス、ポリエチレン、ポリプロピレン等の材質を使用する。

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度	未設定
許容濃度	2 mg/m ³ (吸入性粉塵) 8 mg/m ³ (総粉塵)
設備対策	近くに手洗い、洗眼などの設備を設ける。 取扱い場所は換気をよくする。 工程で粉塵が発生する時は換気装置を設置する。
保護具	
呼吸器の保護具	適切な呼吸器保護具を着用すること。
手の保護具	適切な保護手袋を着用すること。ゴム手袋。
眼の保護具	適切な眼の保護具を着用すること。ゴーグル型保護眼鏡。
皮膚及び身体の保護具	適切な保護衣を着用すること。長袖、長ズボン。
衛生対策	取扱い後はよく手を洗い、うがいをする。 この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。

9. 物理的及び化学的性質

物理的状态	
形状	固体 (粉末)
色	白色
臭い	無臭
PH	8.0 (5%水溶液)
融点	データなし
沸点、初留点及び沸騰範囲	データなし
引火点	データなし
自動発火温度	データなし
燃焼性 (固体、ガス)	不燃性
爆発範囲	データなし
蒸気圧	データなし
蒸気密度	データなし
蒸気速度	非該当
比重 (相対密度)	0.89~1.4 (見掛け嵩比重)
溶解度	6.5 g/100 g H ₂ O (0°C)
オクタノール・水分配係数	データなし

分解温度 50° C
その他のデータ 吸湿性あり

10. 安定性及び反応性

安定性 通常の取扱いにおいては安定である。
危険有害反応可能性 酸性物質と反応し炭酸ガスを放出する。
避けるべき条件 特になし
混触危険物質 酸性物質。
危険有害な分解生成物 炭酸ガス。

11. 有害性情報

急性毒性
経口 ラットのLD50値 7334 mg/kg
経皮 データなし
吸入 吸入（ガス）：GHSの定義における固体である。
吸入（ミスト）：ラットのLC50値 >4.7 mg/L (4.5hr)
吸入（粉じん）：データなし
皮膚腐食性・刺激性 知見なし
眼に対する重篤な損傷・ 知見なし
呼吸器感作性又は皮膚感作性 知見なし
生殖細胞変異原性 サルモネラ菌によるエームテスト＝陰性
染色体異常試験＝陰性
発ガン性 知見なし
生殖毒性 知見なし
特定標的臓器・全身毒性 知見なし
（単回ばく露）
特定標的臓器・全身毒性 知見なし
（反復ばく露）
吸引性呼吸器有害性 知見なし

12. 環境影響情報

生態毒性
魚類 ニジマス (LC50) 7700 mg/L (96h)
ブルーギル (LC50) 7100 mg/L (96h)
甲殻類 オオミジンコ (NOEC) >576 mg/L・21days
藻類 データなし
残留性・分解性 データなし
生体蓄積性 データなし
土壌中の移動性 データなし

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物

廃アルカリは都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物処理業者に処理を委託する。

汚染容器及び包装

使用済み包装容器は内容物を完全に除去した後、紙くずは一般廃棄物として許可を受けた業者に処理を委託する。廃プラスチックは都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物処理業者に処理を委託する。

14. 輸送上の注意

国内規制

適用法令を参照

特別安全対策

特になし

輸送の特定の安全対策及び条件 輸送作業は取扱い及び保管上の注意事項に留意して行う。

15. 適用法令

産業廃棄物

廃棄物の処理及び清掃に関する法律

下記法規にいずれも該当せず

労働安全法（表示対象物・通知対象物）

P R T R 法（指定化学物質）

高圧ガス取締法、消防法、毒物及び劇物取締法

16. その他

引用文献

ICSC 国際化学物質安全性カード（WHO/IPCS/ILO）

Registry of Toxic Effects of Chemical Substances,NIOSH(2006)STN INTERNATIONAL

産業衛生学雑誌 Vol.53(2011)

ACGIH,TLVs and Bels Based on the Documentation of the Threshold Limit Values for Chemical Substances and Physical Agents & Biological Exposure Indices(2012)

無機化学ハンドブック 技報堂

SIDS Initial Assessment Report

本 SDS に記載された含有量、物理化学的性質などの値は、保証値ではありません。

また、危険、有害性の評価は必ずしも十分ではないので、取扱いには十分注意してください。